

下野朝臣古麻呂  
(しもつけぬのあそんこまろ)  
(大宝律令の選定に携わった  
下野市ゆかりの人物)



下野市は、60を超える都市公園があるほか、鬼怒川、田川、姿川などの河川が本市を流れていて、農業用水路も整備され、水と緑に恵まれているね。今回は、都市公園や農業用水路等を資源のひとつとしてとらえ、代表的なものを取材したんだよ。

本市の豊かな水・緑資源を、利用するだけでなく、将来にむけて大切にしていくことを、みなさんが考えるきっかけになるといいな。

【参考】 下野市の都市公園は人口当たりの面積が県内の市全体で8位でした(東洋経済都市データパック調べ)

## グリムの里事業の奏効～物語りのある公園づくり～



1年を通じて、市内外の方に散歩やウォーキング等に利用されているよ。あと、春は600mに及ぶ桜堤が見事なんだ。



愛パーク活動として、(公社)栃木法人会 石橋女性部他が美化活動しているんだ。



当時 姿川アメニティパークの設計を担当された  
**茂木正行氏**(ゆうがおパーク副理事長)



公園といえば児童公園の時代、グリムの里づくりの一環であったことからドイツをイメージして、水路と緑をふんだんに取り入れた特徴ある公園を目指しました。できた当初は、ドイツの大学生が遊びに来て、そこで大道芸を披露しました。今も月に一度くらい、大道芸の披露があったらうれしい。

姿川アメニティパークは旧石橋町のグリムの里づくりのハード事業の一つとして、平成2年4月に着工、平成6年3月に都市公園としてオープンしました。このパークは直径6メートルの羽根を持つ高さ10メートルの「風車展望台」がシンボルです。水と緑を活かし、面積約3ヘクタールの憩いと安らぎの場として整備されたものです。

園内には夜になるとライトアップされる風車展望台、約350メートルの流れて池、メイン広場には幅10メートル高さ3メートルの壁泉、あづまや、遊具、ハーメルンの笛吹き像などの施設や、ドイツトウヒ、サクラ、ユリノキなどの樹木約420本、ツツジ約11,000本、草花類約23,000株が植栽されています。



ハーメルンの笛吹きの像



### つながッテルね! 条例6条

#### (情報提供)

第6条 議会及び市は、その保有する情報について市民との共有財産であるとの認識に立ち、積極的に、かつ、分かりやすく市民への情報提供に努めるものとする。